

# 平成22事業年度（H22.4～H23.3）に係る業務実績報告書

平成23年6月

地方独立行政法人桑名市民病院

桑名市民病院の概要

1. 現況

① 法人名

地方独立行政法人桑名市民病院

② 本部の所在地

桑名市大字北別所 416 番地 1

③ 役員状況

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏名	備考
理事長	足立 幸彦	桑名市民病院長
理事	平田 和男	桑名市民病院分院長
理事	藤岡 正樹	桑名市民病院副院長
理事	柳川 智子	桑名市民病院副院長
理事	石田 聡	桑名市民病院内科部長
理事	佐古 伊康	財団法人しずおか健康長寿財団
監事	橋本 等	税理士

※平成 22 年 10 月 1 日付で佐古伊康氏就任

④ 設置・運営する病院

別表のとおり

⑤ 職員数 (平成 23 年 3 月 31 日現在)

484 人 [理事長 1 人、桑名市民病院 372 人 (常勤職員 237 人、臨時職員 135 人)、桑名市民病院分院 111 人 (常勤職員 55 人、臨時職員 56 人)]

2. 桑名市民病院の基本的な目標等

桑名市民病院は、地域の中核病院として、救急医療をはじめとする高度医療を提供するとともに、桑名市及び地域における医療水準の向上に寄与してきた。

今後も、地方独立行政法人への移行に合わせて開設した桑名市民病院分院とともに、救急医療、小児・周産期医療、感染症医療、高度医療等の不採算医療や政策医療、病気の予防や健診等、市民の健康を守るための医療を継続的かつ安定的に提供する公的医療機関としての責務があり、このような医療を提供するために、新たな地域の中核病院の実現に取り組む必要がある。

このため、地方独立行政法人桑名市民病院は、制度の特長を十分に活かした病院運営、病院を取り巻く環境の変化への迅速な対応、医療の質の更なる向上に取り組み、

あわせて経営の効率化、職員の意識改革、患者及び市民のニーズを把握する取組みを行い、その期待に最大限応えていくことが求められている。

(別表)

病 院 名	桑名市民病院	桑名市民病院分院
主 な 役 割 及 び 機 能	○地域中核病院 ○救急指定病院 ○厚生労働省指定臨床研修病院 ○日本医療機能評価機構認定病院	○循環器系疾患専門病院 ○救急指定病院 ○日本医療機能評価機構認定病院
所 在 地	桑名市大字北別所 416 番地 1	桑名市中央町一丁目 32 番地 1
設 立 ( ※ )	昭和 41 年 4 月 23 日	昭和 26 年 5 月
病 床 数	一般 234 床	一般 79 床
診 療 科 目	内科、呼吸器内科、循環器内科、肝臓内科、神経内科、外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科	内科、消化器内科、循環器内科、外科、心臓血管外科

※ 設立欄は、桑名市民病院は市立病院としての設立時、桑名市民病院分院は旧平田外科医院としての設立時を記載

## 全体的な状況

### 1 法人の総括と課題

平成 22 年度は、法人初年度となる平成 21 年度に整備した法人の経営体制を柱として、医療サービスの充実、患者及び地域住民のニーズに応えるために、経営の効率化、迅速性の向上、職員の意識改革に努め、中期計画の達成に向けた病院運営を行った。

平成 21 年度の経営状況は、市民病院と市民病院分院の経営指標に格差があるなか、経常収支は 100%を達成し年度計画を上回る結果となったが、本院の経営状況は、前年度の内科医師の減員の影響により、経常収益の改善は見られず更なる経営改善が必要となっている。

提供するサービス及び業務の質の向上については、重点的に取り組む医療で、地域住民にニーズの高い救急医療において、前年と同様に桑名地域の医療機関で最も多くの救急患者を受け入れた。医療職の人材確保としては、大学医局及び関連機関との連携、民間紹介機関による募集などにより、本院で麻酔科医、外科医及び内科医、分院では循環器内科医の 4 人の医師を確保できた。患者の利便性向上については、平成 22 年 10 月から 8 時から 16 時まで 30 分間隔で、本院、桑名駅、分院を結ぶシャトルバスの運行を開始し 6 ケ月間で延べ 5,470 人の利用があった。市民への保健医療情報の提供及び発信では、平成 22 年 10 月 31 日に地域住民との交流を目的として第 1 回病院祭を開催し、約 1,500 人の来院があり好評を博した。

業務運営の改善及び効率化については、行動評価、能力評価及び業績評価による新しい人事評価制度を医師以外の職員に導入し運用を開始した。勤務成績を考慮した給与制度では、人事評価結果を業績手当、昇給及び昇任に反映した。医師においても、業績手当の一部を医業収益実績に応じた支給を行った。

経営状況について、収入の確保においては、7 対 1 入院基本料の維持、病床利用率の向上に努め、法人化前も含めた平成 21 年度実績に比べ入院患者数、1 日当たり入院収益、病床利用率が増加した。しかし、外来では 1 日当たり外来収益は前年度並みを維持したが、患者数は減員となった。一方、費用の節減においては、後発医薬品採用、薬価値引き率の向上、保守契約など業者が限定される契約については、更新も勘案しより有利な契約内容とする取組みを行った。これらの結果、収支計画では約 2 億 8,000 万円の赤字を見込んでいたところ、120 万円余の黒字となった。

課題としては、民間病院との再編統合及び新病院整備を踏まえ、両病院の医療資源を有効に機能させながら、医療の質の向上に取り組むとともに、まだ経営改善が顕著になっていない本院については、DPCでの収入確保対策の徹底、更なる費用節減対策の実施が必要である。

### 2 大項目ごとの特記事項

(1) 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する取組

市民病院が担う地域中核病院、救急指定病院、臨床研修病院等の役割、また、市民病院分院における循環器系疾患専門病院、救急指定病院の役割については、対象患者の受け入れ、麻酔科医など常勤医師 4 人、臨床研修医の定員枠 3 人採用など、実績において着実に果たすことができた。

災害時の医療協力体制においては、地域での災害救助訓練に、医師及び看護師が積極的に参加し災害時の医療救護活動に備え、3月に発生した東日本大震災では医療チーム派遣を迅速に決定し、平成 21 年度の新型インフルエンザへの対応に続き地域中核の公立病院としての役割を担った。

患者サービスの一層の向上では、定期的な患者アンケートのほか外来待ち時間アンケートを実施し、ニーズ・課題を抽出し対応した。紹介患者専用窓口、案内体制を整え、さらに、両病院共通の同時対応として、クレジットカード決済の導入、両病院を結ぶシャトルバス運行、病院情報広告モニター設置など、一体的に取り組んだ。

市民への保健医療情報の提供発信においては、北勢緩和ケアネットワークとの共催で「ここまで進んできた緩和治療について」を桑名市民会館で開催し約 300 人の参加があり、さらに、第 1 回病院祭では約 1,500 人の地域住民が来院されるなど、地域住民の健康を守る役割を担う病院として、地域と繋がる情報発信ができた。

これらをはじめ、市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する取組については、年度計画を概ね順調に達成することができた。

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する取組

平成 21 年度に構築した理事会や合同企画運営会議など、必要な運営管理体制のもと効率的かつ効果的な業務運営に努めた。

市派遣職員は平成 21 年度の 13 人から 6 人にまで減員し、事務部門をスリム化するとともに、医事業務管理指導職をはじめとする病院に必要な業務経験者など法人プロパー職員 4 人を採用した。医事部門については全員プロパー職員に移行するなど専門性を強化した。また、職員の努力や法人業績を反映する給与制度の適切な運用のため、人事評価制度を構築し賞与、昇給及び昇任に反映した。

これらをはじめ、業務運営の改善及び効率化に関する取組については、年度計画を概ね順調に達成することができた。

項目別の状況

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  
 1 高度医療の提供  
 (1) 重点的に取り組む医療の実施

中期目標 救急医療並びにがん、脳血管障害、循環器疾患、糖尿病及び消化器疾患の分野における高度医療及び急性期医療に重点的に取り組むこと。

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価																											
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント																										
<p>救急医療については、現在5病院が病院群輪番制を敷いており、それを尊重しつつ救急医療の増強を図る。</p> <p>具体的には地域の医療機関からの紹介患者及び救急車搬送患者を積極的に受け入れる。</p> <p>[桑名市消防本部救急搬送患者数に占める受入れ患者数の割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成18年 実績値</th> <th>平成19年 実績値</th> <th>平成20年 実績値</th> <th>平成25年 計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>17.1% (1,114人)</td> <td>17.0% (1,130人)</td> <td>18.8% (1,231人)</td> <td rowspan="2">25.0%</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>2.6% (171人)</td> <td>2.7% (177人)</td> <td>2.2% (146人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 桑名市の二次救急医療については、桑名市民病院を含む輪番5病院が、また、いなべ市では、いなべ総合病院が二次救急を担っており、平成20年消防本部救急搬送患者数は、6,562人である。桑名市民病院を含む輪番5病院及びいなべ総合病院の平成20年消防本部救急搬送率76.5%及び搬送患者数5,022人である。また、海南病院及び市立四日市病院への平成20年消防本部救急搬送率11.5%及び搬送患者数757人である。残り、783人は、市内の他病院等へ搬送されている。</p> <p>がん、脳血管障害、糖尿病及び消化器疾患の分野における高度医療及び急性期医療に取り組むため、治療内容の充実及び医療提供体制の強化を図る。</p>	病院名	平成18年 実績値	平成19年 実績値	平成20年 実績値	平成25年 計画値	桑名市民病院	17.1% (1,114人)	17.0% (1,130人)	18.8% (1,231人)	25.0%	桑名市民病院分院	2.6% (171人)	2.7% (177人)	2.2% (146人)	<p>救急医療については、地域の医療機関からの紹介患者及び救急車搬送患者の積極的な受け入れを継続する。</p> <p>[桑名市消防本部救急搬送患者数に占める受入れ患者数の割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年 実績値</th> <th>平成22年 計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>22.2%</td> <td>23.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>がん、脳血管障害、循環器疾患、糖尿病及び消化器疾患の分野における高度医療及び急性期医療に取り組むため、治療内容の充実及び医療提供体制の強化を図る。</p>	病院名	平成21年 実績値	平成22年 計画値	桑名市民病院	22.2%	23.0%	<p>救急医療では、4病院での病院群輪番制度の中、輪番日は医師2人と研修医1人の3人体制、脳神経外科は365日24時間体制を敷き、救急医療を提供する体制を継続し、1,576人の救急搬送患者を受入れ、前年より133人増員となったが、桑名市消防本部救急搬送患者総数の増員(477人)に伴い、計画値(受入率)達成には至らなかった。</p> <p>[桑名市消防本部救急搬送患者数に占める受入れ患者数の割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年 計画値</th> <th>平成22年 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>23.0% (1,343人)</td> <td>22.6% (1,576人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>急性期医療への取り組みとして、常勤の麻酔科専門医を確保し手術体制を充実するとともに、早期の社会復帰が可能となる腹腔鏡手術を積極的に取り入れた。</p> <p>がん治療への取り組みとして、日本乳</p>	病院名	平成22年 計画値	平成22年 実績値	桑名市民病院	23.0% (1,343人)	22.6% (1,576人)	3		
病院名	平成18年 実績値	平成19年 実績値	平成20年 実績値	平成25年 計画値																											
桑名市民病院	17.1% (1,114人)	17.0% (1,130人)	18.8% (1,231人)	25.0%																											
桑名市民病院分院	2.6% (171人)	2.7% (177人)	2.2% (146人)																												
病院名	平成21年 実績値	平成22年 計画値																													
桑名市民病院	22.2%	23.0%																													
病院名	平成22年 計画値	平成22年 実績値																													
桑名市民病院	23.0% (1,343人)	22.6% (1,576人)																													

[がん、脳血管障害、循環器疾患及び糖尿病の患者数]			<p>癌学会認定医専門医制度関連施設認定を受け、治療内容の充実と医療提供体制を強化するとともに、平成 22 年度から院内がん登録（280 件）を開始した。</p> <p>また、高度な医療機能を有する指標となる機能評価係数Ⅱが平成 23 年 3 月 17 日に厚生労働省より告示され、全国で 440 位、県内では 20 病院中 5 位となった。※機能評価係数Ⅱとは、DPC 導入病院の「データ提出係数」「効率性係数」「複雑性係数」「カバー率係数」「地域医療係数」「救急医療係数」の 6 項目から算出され、係数が大きい病院ほど高度な医療機能を有するとみなされ、診療報酬単価が高くなる。</p> <p>[三重県内の上位5件機能評価係数Ⅱ]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>病院名</th> <th>機能評価係数Ⅱ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42</td> <td>三重県立総合医療センター</td> <td>0.0317</td> </tr> <tr> <td>61</td> <td>山田赤十字病院</td> <td>0.0312</td> </tr> <tr> <td>170</td> <td>市立四日市病院</td> <td>0.0286</td> </tr> <tr> <td>356</td> <td>三重大学医学部附属病院</td> <td>0.0257</td> </tr> <tr> <td>440</td> <td>桑名市民病院</td> <td>0.0247</td> </tr> </tbody> </table> <p>[がん、脳血管障害、循環器疾患及び糖尿病の患者数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成22年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">本院</td> <td>がん</td> <td>539人</td> <td>499人</td> </tr> <tr> <td>脳血管障害</td> <td>162人</td> <td>316人</td> </tr> <tr> <td>循環器疾患</td> <td>493人</td> <td>252人</td> </tr> <tr> <td>糖尿病</td> <td>1,341人</td> <td>1,276人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">分院</td> <td>がん</td> <td>5人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>脳血管障害</td> <td>22人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>循環器疾患</td> <td>926人</td> <td>950人</td> </tr> <tr> <td>糖尿病</td> <td>390人</td> <td>632人</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 がん、脳血管障害及び循環器疾患については入院患者数、糖尿病については外来患者数。</p>	順位	病院名	機能評価係数Ⅱ	42	三重県立総合医療センター	0.0317	61	山田赤十字病院	0.0312	170	市立四日市病院	0.0286	356	三重大学医学部附属病院	0.0257	440	桑名市民病院	0.0247	区分		平成21年度実績値	平成22年度実績値	本院	がん	539人	499人	脳血管障害	162人	316人	循環器疾患	493人	252人	糖尿病	1,341人	1,276人	分院	がん	5人	15人	脳血管障害	22人	25人	循環器疾患	926人	950人	糖尿病	390人	632人
順位	病院名	機能評価係数Ⅱ																																																	
42	三重県立総合医療センター	0.0317																																																	
61	山田赤十字病院	0.0312																																																	
170	市立四日市病院	0.0286																																																	
356	三重大学医学部附属病院	0.0257																																																	
440	桑名市民病院	0.0247																																																	
区分		平成21年度実績値	平成22年度実績値																																																
本院	がん	539人	499人																																																
	脳血管障害	162人	316人																																																
	循環器疾患	493人	252人																																																
	糖尿病	1,341人	1,276人																																																
分院	がん	5人	15人																																																
	脳血管障害	22人	25人																																																
	循環器疾患	926人	950人																																																
	糖尿病	390人	632人																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>平成20年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">桑名市民病院</td> <td>がん</td> <td>965人</td> </tr> <tr> <td>脳血管障害</td> <td>425人</td> </tr> <tr> <td>循環器疾患</td> <td>1,329人</td> </tr> <tr> <td>糖尿病</td> <td>1,081人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">桑名市民病院分院</td> <td>がん</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>脳血管障害</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>循環器疾患</td> <td>713人</td> </tr> <tr> <td>糖尿病</td> <td>525人</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 がん、脳血管障害及び循環器疾患については入院患者数、糖尿病については外来患者数。</p>	病院名	区分	平成20年度実績値	桑名市民病院	がん	965人	脳血管障害	425人	循環器疾患	1,329人	糖尿病	1,081人	桑名市民病院分院	がん	8人	脳血管障害	16人	循環器疾患	713人	糖尿病	525人																														
病院名	区分	平成20年度実績値																																																	
桑名市民病院	がん	965人																																																	
	脳血管障害	425人																																																	
	循環器疾患	1,329人																																																	
	糖尿病	1,081人																																																	
桑名市民病院分院	がん	8人																																																	
	脳血管障害	16人																																																	
	循環器疾患	713人																																																	
	糖尿病	525人																																																	

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 高度医療の提供

(2) 診療機能の整備

中期 目標	<p>医療需要の質的及び量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して小児科、産婦人科等、診療部門の充実及び見直しを行うこと。</p> <p>また、地域住民の医療需要に応じた専門外来の設置及び充実を進めるなど、診療機能の整備を図ること。</p>
----------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>患者動向や医療需要の変化に対応するため、診療科及び診療時間をはじめとする診療機能の充実又は見直しを行う。特に小児科及び産婦人科の機能向上に努め、産婦人科については、産婦人科医師及び助産師確保などを条件に、現在休止している分娩を平成 23 年度までに再開する。</p> <p>地域住民の医療需要に応じた専門外来の設置及び充実を進める。</p> <p>新病院の実現に合わせて、ICUの施設基準を達成する。</p>	<p>平成 21 年度に実施した患者アンケート等により患者動向や医療需要の変化を把握し、診療科及び診療時間をはじめとする診療機能の充実又は見直しを行う。特に小児科及び産婦人科の機能向上に努め、産婦人科については、引き続き産婦人科医師及び助産師確保のための募集を行い、現在休止している分娩の再開に向けた準備を継続する。</p> <p>手術水準の充実のため、麻酔科医師の確保を図る。</p> <p>地域住民の医療需要に応じた専門外来の設置及び充実を進める。</p>	<p>手術水準の充実のため平成 22 年 4 月に麻酔科医を確保し標榜した。</p> <p>患者動向や医療需要への対応として、肛門外科及び肝臓内科を新たに標榜し、緩和ケア、ストーマ、肥満、パーキンソン病などの各専門外来を継続するとともに、消化器先端医療専門外来を設置した。</p> <p>また、地域住民の健康維持への取り組みとして、大腸がん早期発見を目的にワシントン検診を有期で実施し 198 人に検査を受けていただいた。</p> <p>院内助産所の開設に向け、助産師を継続的に募集したが、助産師の確保に結びついていない。</p>	3		

<p>第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 高度医療の提供</p> <p>(3) 高度医療機器の計画的な整備及び更新</p>
---

中期 目標	<p>桑名市民病院に求められる高度医療を提供できるよう、中期目標の期間における資金計画を策定し、計画的な医療機器の更新及び整備を進めること。</p>
----------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>中期目標の期間における整備及び更新計画を策定し、医療機器の計画的な整備及び更新を進める。医療機器の整備及び更新に当たっては、稼働率や収支の予測を十分に行った上で進めるとともに、リース等を含めた最適な導入形態を検討する。新病院の実現に合わせて、放射線治療装置など、高度医療機器等の設備面の充実を図る。</p>	<p>現在の施設において、直ちに各種高度医療機器を導入することは不可能であるため、新病院の実現までは、経営状況等を勘案しつつ、医療機器の更新及び整備を継続する。</p>	<p>既存機器の更新においては、平成 22 年 11 月に、全身用 X 線 CT を従来機との継続費用、性能等の比較検討の上購入した。また、同年 7 月にオーダーリングシステムに注射薬処方システムを導入し、情報伝達の迅速化と正確化を確保し、注射、会計などの待ち時間の短縮を図った。</p>	3		

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 高度医療の提供

(4) 災害時及び重大な感染症の流行時等における医療協力体制の整備

中期目標	<p>災害時及び重大な感染症の流行時等には、桑名市からの要請に基づき必要な医療を提供するなど、桑名市が実施する災害対策等に協力すること。</p>
------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>災害医療に関する研修及び医療救護を想定した訓練等を充実させ、災害に備えるとともに、災害時には、桑名市からの要請に基づき必要な医療救護活動を実施し、桑名市が実施する災害対策に協力する。新病院の実現に合わせて、施設・設備面での充実を図り、重大な感染症の流行時等における外来診療等の初期体制を整え、また、入院診療等において、地域医療に貢献する。</p>	<p>災害医療に関する研修及び医療救護を想定した訓練等を充実させ、災害に備えるとともに、災害時には、桑名市からの要請に基づき必要な医療救護活動を実施し、桑名市が実施する災害対策に協力する。現在の施設は、開院後 44 年を経過し、耐震構造上問題があるため、現状を踏まえた上での活動を行う。</p>	<p>災害医療に関する研修及び医療救護を想定した訓練の一環として、平成 22 年 11 月 28 日に実施された桑名医師会による成徳中学校校区・大成小学校での災害救助訓練に医師 4 人、看護師 7 人が参加した。また、3 月 11 日に発生した東日本大震災では、同月 17 日には派遣希望者を募り 3 月 27 日には 4 月 21 日からの医療チーム派遣を決定するなど、災害医療に積極的に協力した。なお、透析患者、入院患者の受入れ登録を行なっているが、具体的な受入れには至っていない。</p>	4		

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療水準の向上

(1) 医療職の人材確保

中期 目標	<p>桑名市民病院において提供する医療水準を向上させるため、優秀な医師、看護師及び医療技術職員の確保に努めるとともに、臨床研修医及び後期研修医（専門分野の研修を行う医師をいう。）の受入れに努めること。</p> <p>また、より多くの採用希望者を集めるべく、魅力ある病院の施設作り及び運営に努めること。</p>
----------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>設備の整った新たな地域の中核病院を実現するとともに、医師の待遇を向上させ、各種専門医の研修機関としての認定を促進するなど、医師にとって魅力的な病院作りに努めつつ、大学等関係機関との連携の強化、公募の推進等により、医師の確保を図る。</p> <p>臨床研修プログラムの改善及び充実を図るなど、教育研修体制を整備し、臨床研修医及び後期研修医（専門分野の研修を行う医師をいう。）の受入れ拡大を図る。</p> <p>看護師、助産師及び医療技術職員については、教育実習等を通じて関係教育機関等との連携を強化し、看護師、助産師及び医療技術職員の確保を図る。</p> <p>医師の長時間勤務の改善や育児中の女性職員の業務の負担を軽減するなど、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に配慮した働きやすい環境を整備し、人材の確保と定着に取り組む。特に、女性医療職については、柔軟な雇用形態や院内保育所の充実等により、その確保を図る。</p>	<p>医師の処遇を向上させ、各種専門医の研修機関としての認定を促進するなど、医師にとって魅力的な病院作りに努めつつ、大学等関係機関との連携の強化、公募の推進等により、医師の確保を図る。</p> <p>平成15年策定の新病院整備計画基本構想を基礎として、現在の医療ニーズ等にマッチさせた将来構想計画を早急にまとめ、いわゆるマグネットホスピタルの実現に向けた取り組みを行う。</p> <p>臨床研修プログラムの改善及び充実を図るなど、教育研修体制を整備し、臨床研修医及び後期研修医の受入れ拡大を図る。</p> <p>看護師、助産師及び医療技術職員については、教育実習等を通じて関係教育機関等との連携を強化し、看護師、助産師及び医療技術職員の確保を図る。特に、看護師及び助産師については、新たな人材を発掘するため、全国の養成機関等への訪問や潜在看護師職場復帰のための研修会の開催に注力する。</p> <p>医師の長時間勤務の改善や育児中の女性職員の業務の負担を軽減するなど、ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい環境を整備し、人材の確保と定着に取り組む。特に、女性医療職については、短時間正規職員制度を含む柔軟な雇用形態や院内保育所の充実等により、その確保を図る。</p>	<p>医師確保については、大学医局、全国自治体病院協議会など関連機関との連携や民間紹介機関による募集、地元出身者などへの働きかけなどにより麻酔科医1人、循環器内科医1人、外科医1人、内科医（糖尿病・内分泌）1人の常勤医師4人を採用し、さらに、平成23年4月に循環器内科医、外科医、5月に総合診療内科医の3人の採用が決定している。</p> <p>また、非常勤医師についても常勤医師がいない呼吸器内科医など8人を新たに確保した。</p> <p>臨床研修医については、大阪府泉州救命救急センター（救急医療）、三重大学医学部附属病院（全診療科）、国立病院機構三重病院（小児科）と提携し、協力病院を充実し、研修2年目のエレクトティブ（選択）期間を12ヶ月の最長とするなど、研修医の希望に沿える自由度の高いカリキュラムの設定などにより2人を確保した。次期臨床研修プログラムでは藤田保健衛生大学坂文種病院（呼吸器内科）が協力病院に加わることになった。</p>	4		



		<p>また、医学生奨学金制度も8人の新たな利用があり、さらに後期研修医への貸与も1人決定している。</p> <p>看護師確保への取り組みとして、看護師就職支援担当の副院長を任命し、近隣看護師養成機関（39校）のみならず、徳島県、高知県、岡山県、山口県の養成機関（13校）の訪問を行った。さらに、看護師養成機関への進学を希望する高校生にも修学資金などの説明に愛知県、岐阜県を含め近隣高校（65校）を訪問した。</p> <p>こうした取り組みの結果、平成22年度中に22人の看護師を確保するとともに、平成23年4月に本院・分院合わせ11人の看護師確保ができ、さらに、看護師修学資金については平成22年度中に12人が貸与を開始し、平成23年度に向けては、看護師養成機関23人、高校2人から希望問い合わせがあった。</p> <p>また、育児・介護休業法の一部改正に伴い子の看護休暇の拡充及び介護短期休暇の創設など就業規程の改正を行い、女性医療職の働きやすい環境作りに努めた。</p> <p>柔軟な雇用形態として、夜間勤務専従制度で、患者の高齢化による身体介護への対応として介護職3人を雇用し、看護師が看護業務に専念できるように体制を整えた。</p>			
--	--	--	--	--	--

<p>第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 医療水準の向上</p> <p>(2) 医療職の専門性及び医療技術の向上</p>
---

<p>中期 目標</p>	<p>医師、看護師及び医療技術職員に対して、資格の取得も含めた教育研修体制の充実を図るなど、専門性及び医療技術の向上を図ること。</p>
------------------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価																																																													
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント																																																												
<p>医師、看護師及び医療技術職員に対して、学会、発表会や研修への参加と職務上必要な資格の取得を促すため、業務の交代や軽減並びに法人が負担する必要経費の増額など、その支援を拡大する。</p> <p>そのうち法人が負担する必要経費については、年度ごとに漸増させ、平成25年度において平成20年度（7,285千円）比30%程度の増額を目指す。</p> <p>[学会、発表会等への延べ参加者数（カッコ内はうち発表者数）]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>平成20年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">桑名市民病院</td> <td>医師</td> <td>122人（18人）</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>105人（3人）</td> </tr> <tr> <td>医療技術職員</td> <td>44人（1人）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">桑名市民病院分院</td> <td>医師</td> <td>0人（0人）</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>25人（0人）</td> </tr> <tr> <td>医療技術職員</td> <td>32人（1人）</td> </tr> </tbody> </table> <p>特に、看護師については、専門看護師及び認定看護師の資格の取得を促進する。（専門看護師とは、社団法人日本看護協会専門看護師認定審査に合格し、特定の専門看護分野において卓越した看護実践能力を有することが認められた者をいい、認定看護師とは、同協会認定看護師認定審査に合格し、特定の認定看護分野において熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいう。いずれも高度な看護の提供が可能となり、診療報酬の加算もある。）</p> <p>[専門看護師数及び認定看護師数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>平成20年度実績値</th> <th>平成25年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">桑名市民病院及び分院</td> <td>専門看護師</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td>0人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	区分	平成20年度実績値	桑名市民病院	医師	122人（18人）	看護師	105人（3人）	医療技術職員	44人（1人）	桑名市民病院分院	医師	0人（0人）	看護師	25人（0人）	医療技術職員	32人（1人）	病院名	区分	平成20年度実績値	平成25年度計画値	桑名市民病院及び分院	専門看護師	0人	1人	認定看護師	0人	3人	<p>医師、看護師及び医療技術職員に対して、学会、発表会や研修への参加と職務上必要な資格の取得を促すため、業務の交代や軽減並びに必要経費の法人によるなどの支援を継続する。</p> <p>特に、看護師については、専門看護師及び認定看護師の資格の取得のため、必要な教育課程又は研修への参加に対する法人負担を継続する。</p>	<p>全国自治体病院学会、日本病院学会などへの研究発表を促すため、院内発表会での優秀発表者の学会出席の制度化により、医療職に止まらず経営改善に貢献した事務部門も学会に出席した。</p> <p>[学会、発表会等への延べ参加者数（カッコ内はうち発表者数）]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成22年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">本院</td> <td>医師</td> <td>115人（9人）</td> <td>115人（8人）</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>93人（2人）</td> <td>105人（5人）</td> </tr> <tr> <td>医療技術職</td> <td>77人（2人）</td> <td>82人（4人）</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>285人（13人）</td> <td>302人（17人）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">分院</td> <td>医師</td> <td>5人（0人）</td> <td>11人（0人）</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>25人（0人）</td> <td>34人（0人）</td> </tr> <tr> <td>医療技術職員</td> <td>54人（1人）</td> <td>13人（1人）</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>84人（1人）</td> <td>58人（1人）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>369人（14人）</td> <td>360人（18人）</td> </tr> </tbody> </table> <p>前年度との比較では、学会、発表会等への延べ参加者数は減少したが、発表者数は増加した。</p> <p>論文は、平成22年度に医師9編（内英文4編）、医療職3編が発表された。</p> <p>昨年度に引き続き、皮膚・排泄ケア分野の認定看護師資格の取得のため、看護師1人を研修会に6ヶ月間参加させた。</p> <p>同様に、平成23年3月に、市民病院の主催で脳卒中初期診療コース（ISLSコース）を連続開催した。脳卒中初期診療の手技や知識を共有するためのシミュレーション研修を行った。</p>	区分	平成21年度実績値	平成22年度実績値	本院	医師	115人（9人）	115人（8人）	看護師	93人（2人）	105人（5人）	医療技術職	77人（2人）	82人（4人）	小計	285人（13人）	302人（17人）	分院	医師	5人（0人）	11人（0人）	看護師	25人（0人）	34人（0人）	医療技術職員	54人（1人）	13人（1人）	小計	84人（1人）	58人（1人）	合計	369人（14人）	360人（18人）	3		
病院名	区分	平成20年度実績値																																																															
桑名市民病院	医師	122人（18人）																																																															
	看護師	105人（3人）																																																															
	医療技術職員	44人（1人）																																																															
桑名市民病院分院	医師	0人（0人）																																																															
	看護師	25人（0人）																																																															
	医療技術職員	32人（1人）																																																															
病院名	区分	平成20年度実績値	平成25年度計画値																																																														
桑名市民病院及び分院	専門看護師	0人	1人																																																														
	認定看護師	0人	3人																																																														
区分	平成21年度実績値	平成22年度実績値																																																															
本院	医師	115人（9人）	115人（8人）																																																														
	看護師	93人（2人）	105人（5人）																																																														
	医療技術職	77人（2人）	82人（4人）																																																														
	小計	285人（13人）	302人（17人）																																																														
分院	医師	5人（0人）	11人（0人）																																																														
	看護師	25人（0人）	34人（0人）																																																														
	医療技術職員	54人（1人）	13人（1人）																																																														
	小計	84人（1人）	58人（1人）																																																														
合計	369人（14人）	360人（18人）																																																															

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療水準の向上

(3) 地域医療連携の推進

中期目標	地域の中核病院としての役割を果たすため、他の医療機関との機能分担と連携を強化するとともに地元医師会等と協力し、紹介された患者の受入れと患者に適した医療機関への紹介を進め、紹介率及び逆紹介率の向上を図ること。
------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価																																																																													
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント																																																																												
<p>地域の中核病院としての役割から、他の医療機関との機能分担と連携を強化するため、地域連携パスを作成する。</p> <p>紹介された患者の受入れと患者に適した医療機関への紹介を、地元医師会等と協力して進め、紹介率及び逆紹介率の向上を図る。</p> <p>〔紹介率〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度実績値</th> <th>平成25年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>27.5%</td> <td>35% (複数医師勤務診療科では40%)</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>26.3%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>他の医療機関に対して、CTやMRI等の検査データの貸出しをはじめとする診療情報の提供や、それらの検査の受託を積極的に進める。</p> <p>〔他の医療機関からの検査受託件数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>平成20年度実績値</th> <th>平成25年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">桑名市民病院</td> <td>MRI</td> <td>4件</td> <td>30件</td> </tr> <tr> <td>睡眠時無呼吸症候群簡易検査</td> <td>0件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>CT</td> <td>4件</td> <td rowspan="2">30件</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>CT</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 平成20年度実績値については、平成21年1月から同年3月までの件数</p> <p>新病院の実現に合わせて、地域がん診療連携拠点病院の指定を受けることを目指す。（地域がん診療連携拠点病院とは、がん診療における地域格差をなくし質の高いがん医療を提供するために、地域におけるがん診療連携を推進するために中核となる病院をいう。都道府県からの推薦を受け、厚生労働省が整備指針に基づき指定する。整備指針では、耐震構造が指定の条件になっている。）</p>	病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値	桑名市民病院	27.5%	35% (複数医師勤務診療科では40%)	桑名市民病院分院	26.3%		病院名	区分	平成20年度実績値	平成25年度計画値	桑名市民病院	MRI	4件	30件	睡眠時無呼吸症候群簡易検査	0件	20件	CT	4件	30件	桑名市民病院分院	CT	0件	<p>地域の中核病院としての役割から、他の医療機関との機能分担と連携を強化するため、地域連携パスを追加する。</p> <p>紹介された患者の受入れと患者に適した医療機関への紹介を、地元医師会等と協力して進め、紹介率の向上を図るとともに、平成21年度に開始したオープン病床の運用を確立する。</p> <p>〔紹介率〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成22年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>28.7%</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>23.4%</td> <td>25.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>他の医療機関に対して、CTやMRI等の検査データの貸出しをはじめとする診療情報の提供や、それらの検査の受託を積極的に進める。</p> <p>〔他の医療機関からの検査受託件数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成22年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">桑名市民病院</td> <td>MRI</td> <td>12件</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>睡眠時無呼吸症候群簡易検査</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>CT</td> <td>15件</td> <td>20件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成21年度実績値	平成22年度計画値	桑名市民病院	28.7%	30.0%	桑名市民病院分院	23.4%	25.0%	病院名	区分	平成21年度実績値	平成22年度計画値	桑名市民病院	MRI	12件	17件	睡眠時無呼吸症候群簡易検査	2件	3件	CT	15件	20件	<p>地域連携パスは脳卒中が稼働しており平成21年度43人、平成22年度51人が地域連携パスを利用した。新たに、愛知がんセンターとのがん地域連携パスの検討を始めている。</p> <p>紹介率については、紹介患者の情報のフィードバックに努め、顔の見える地域連携を目的に市内各医療機関（67件）を副院長、MSWが訪問し情報交換するなど連携を強化した。さらに、地域内医療機関情報を医師にはデータで、患者には掲示により提供した。この結果、紹介率は計画値を上回り、特に分院は23.4%から34.0%へと、数値が10%以上向上した。</p> <p>〔紹介率〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度計画値</th> <th>平成22年度実績値</th> <th>平成22年度逆紹介率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>30.0%</td> <td>30.6%</td> <td>21.4%</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>25.0%</td> <td>34.0%</td> <td>15.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>CTやMR等の検査の受託は、委託申込の簡素化、利便性の向上を図ったが計画値には至らなかった。</p> <p>〔他の医療機関からの検査受託件数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>平成22年度計画値</th> <th>平成22年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">桑名市民病院</td> <td>MRI</td> <td>17件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>睡眠時無呼吸症候群簡易検査</td> <td>3件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>CT</td> <td>20件</td> <td>12件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※受託検査は他の医療機関から直接検査の申し込みを受け、保険請求は委託医療機関が行い、市民病院には検査料が支払われる。</p>	病院名	平成22年度計画値	平成22年度実績値	平成22年度逆紹介率	桑名市民病院	30.0%	30.6%	21.4%	桑名市民病院分院	25.0%	34.0%	15.6%	病院名	区分	平成22年度計画値	平成22年度実績値	桑名市民病院	MRI	17件	11件	睡眠時無呼吸症候群簡易検査	3件	4件	桑名市民病院分院	CT	20件	12件	3		
病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値																																																																															
桑名市民病院	27.5%	35% (複数医師勤務診療科では40%)																																																																															
桑名市民病院分院	26.3%																																																																																
病院名	区分	平成20年度実績値	平成25年度計画値																																																																														
桑名市民病院	MRI	4件	30件																																																																														
	睡眠時無呼吸症候群簡易検査	0件	20件																																																																														
	CT	4件	30件																																																																														
桑名市民病院分院	CT	0件																																																																															
病院名	平成21年度実績値	平成22年度計画値																																																																															
桑名市民病院	28.7%	30.0%																																																																															
桑名市民病院分院	23.4%	25.0%																																																																															
病院名	区分	平成21年度実績値	平成22年度計画値																																																																														
桑名市民病院	MRI	12件	17件																																																																														
	睡眠時無呼吸症候群簡易検査	2件	3件																																																																														
	CT	15件	20件																																																																														
病院名	平成22年度計画値	平成22年度実績値	平成22年度逆紹介率																																																																														
桑名市民病院	30.0%	30.6%	21.4%																																																																														
桑名市民病院分院	25.0%	34.0%	15.6%																																																																														
病院名	区分	平成22年度計画値	平成22年度実績値																																																																														
桑名市民病院	MRI	17件	11件																																																																														
	睡眠時無呼吸症候群簡易検査	3件	4件																																																																														
桑名市民病院分院	CT	20件	12件																																																																														

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療水準の向上

(4) クリニカルパスの作成及び適用と後方支援体制の整備

中期 目標	標準的かつ効率的な医療を提供することで患者負担を軽減し、治療期間の短縮にも寄与できるよう、クリニカルパス（疾患別に退院までの治療内容を標準化した計画表をいう。）の作成及び適用を進め、質の高い医療を提供するとともに、転院あるいは退院後の医療が円滑に継続できるように、後方支援体制を整えること。
----------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価																																					
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント																																				
<p>標準的かつ効率的な医療を提供することで患者負担を軽減し、治療期間も短縮するため、院内のパス委員会での検討を通じて、作成済みのクリニカルパスの点検や新たなパスの作成を進める。</p> <p>〔クリニカルパスの種類数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年 実績値</th> <th>平成25年 計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>13</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>7</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>他の医療機関の後方支援病院として、術後入院や緊急時の受入れ等、円滑で継続的な医療を提供できる体制を強化する。</p> <p>〔後方支援する医療機関数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度実績値</th> <th>平成25年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院及び分院</td> <td>3</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域医療連携室の機能を充実させ、地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関への患者情報の提供や退院時カンファレンスの取組み等を推進することにより、その連携を強化し、医療から介護・福祉への切れ目のないサービスの提供を行う。</p>	病院名	平成20年 実績値	平成25年 計画値	桑名市民病院	13	20	桑名市民病院分院	7	10	病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値	桑名市民病院及び分院	3	8	<p>標準的かつ効率的な医療を提供することで患者負担を軽減し、治療期間も短縮するため、院内のパス委員会での検討を通じて、作成済みのクリニカルパスの点検や新たなパスの作成を行う。</p> <p>他の医療機関の後方支援病院として、緊急時における桑名市民病院又は桑名市民病院分院での受入れ等、円滑で継続的な医療を提供できる体制を強化する。</p> <p>〔後方支援する医療機関数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成22年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院及び分院</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域医療連携室の機能を充実させ、地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関への患者情報の提供や退院時カンファレンスの取組み等を推進することにより、その連携を強化し、医療から介護・福祉への切れ目のないサービスの提供を行う。</p>	病院名	平成21年度実績値	平成22年度計画値	桑名市民病院及び分院	4	5	<p>パス作成委員会において、現在運用しているパスを点検し、その内容と運用方法について必要な修正を行い、また、新たに眩暈症のパスを作成し運用を開始した。 新たなパスを増やすためパス作成委員会の委員を変更するとともに、患者説明用の計画表作成を進める。</p> <p>〔クリニカルパスの種類数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成22年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>後方支援する医療機関数は計画値に至らなかったため、今後は医療機関との密度の濃い連携強化に向け、迅速な情報提供、継続的な訪問を行い協力関係を強化する。</p> <p>〔後方支援する医療機関数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度計画値</th> <th>平成22年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院及び分院</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域医療連携室について、医療連携・医療相談・退院支援室に再編成を行い、看護師、医療事務者を新たに配置し、MSWを含め3人から5人体制をとり、退院支援に向けて総合的支援が可能となるよう機能を充実した。</p>	病院名	平成21年度実績値	平成22年度実績値	桑名市民病院	23	24	桑名市民病院分院	8	8	病院名	平成22年度計画値	平成22年度実績値	桑名市民病院及び分院	5	4	2		
病院名	平成20年 実績値	平成25年 計画値																																							
桑名市民病院	13	20																																							
桑名市民病院分院	7	10																																							
病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値																																							
桑名市民病院及び分院	3	8																																							
病院名	平成21年度実績値	平成22年度計画値																																							
桑名市民病院及び分院	4	5																																							
病院名	平成21年度実績値	平成22年度実績値																																							
桑名市民病院	23	24																																							
桑名市民病院分院	8	8																																							
病院名	平成22年度計画値	平成22年度実績値																																							
桑名市民病院及び分院	5	4																																							

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

3 患者サービスの一層の向上

(1) 診療待ち時間等の改善

中期 目標	外来診療、検査及び手術等の待ち時間の改善に取り組むこと。
----------	------------------------------

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>待ち時間に関する実態調査を毎年1回以上行い、その現況及び原因を把握し、必要に応じて次のような改善を行う。</p> <p>ア 再診予約制度の運用方法の再検討のほか、初診予約制度の導入等、予約制度全般について再度検討し、診療待ち時間の短縮を図る。</p> <p>イ 検査機器の稼働率の向上等により、検査待ち日数及び時間の短縮を図る。</p>	<p>平成21年度に実施した患者満足度実態調査を基に、その現況及び原因を把握し、必要に応じて次のような改善を行う。</p> <p>ア 再診予約制度の運用方法の再検討のほか、初診予約制度の導入等、予約制度全般について再度検討し、診療待ち時間の短縮を図る。</p> <p>イ 検査機器の稼働率の向上等により、検査待ち日数及び時間の短縮を図る。</p>	<p>毎年2月に行う患者アンケートにおいて、待ち時間に関する質問項目を設け、継続的に現況及び原因を把握した。外来待ち時間について、「不満・やや不満」は平成21年度の13.4%から平成22年度は22.8%に増えた。</p> <p>外来待ち時間については平成22年12月に詳細な調査を実施し、予約診察は患者数に比例して待ち時間が長くなる傾向があった。予約外は特徴的な差にはなっていないが、一部診療科では待ち時間が長くなっている。この結果を医師に周知し、可能な限り予約外患者の待ち時間を考慮する対応をとった。会計及び支払いは半数が5分以内、8割が10分以内に済んでいることが明らかになった。</p> <p>待ち時間の短縮対策として、昨年度整えた紹介患者の案内体制に加え、紹介患者専用窓口を開設し受診時の利便性を高めた。また、予約入院手続きを総合窓口でワンストップ化する手順をまとめ導入した。</p> <p>検査機器の稼働件数及び稼働率は、稼働時間拡大、効率性を高め予約枠を増やした結果、前年度と比較して概ね向上した。</p>	3		

<p>ウ 手術室の効率的な運用等、手術の実施体制を整備し、平成 25 年度における手術件数は、麻酔科医の確保に努め、平成 20 年度比 20% 増を目指す。</p> <p>[手術件数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度実績値</th> <th>平成25年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>985件</td> <td>1,240件以上</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>47件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値	桑名市民病院	985件	1,240件以上	桑名市民病院分院	47件		<p>ウ 手術室の効率的な運用等、手術の実施体制を整備することで、手術件数の対前年度比 100%以上を継続する。</p> <p>[手術件数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成22年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td rowspan="2">1,080件</td> <td rowspan="2">1,100件</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成21年度実績値	平成22年度計画値	桑名市民病院	1,080件	1,100件	桑名市民病院分院	<p>[検査機器の稼働件数及び稼働率]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成22年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">本院</td> <td>MR I 2,842件 98.2%</td> <td>3,068件 114.7%</td> </tr> <tr> <td>C T 6,770件 63.4%</td> <td>7,129件 73.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">分院</td> <td>C T 839件 32.3%</td> <td>1,205件 35.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成21年度実績値	平成22年度実績値	本院	MR I 2,842件 98.2%	3,068件 114.7%	C T 6,770件 63.4%	7,129件 73.3%	分院	C T 839件 32.3%	1,205件 35.4%	<p>外科医増員、眼科医の手術件数増に加え、外部からの麻酔科医の継続確保、さらに、常勤の麻酔科医確保により、概ね平成 25 年度計画値まで達成した。</p> <p>[手術件数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度計画値</th> <th>平成22年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td rowspan="2">1,100件</td> <td rowspan="2">1,214件</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成22年度計画値	平成22年度実績値	桑名市民病院	1,100件	1,214件	桑名市民病院分院
	病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値																																		
桑名市民病院	985件	1,240件以上																																			
桑名市民病院分院	47件																																				
病院名	平成21年度実績値	平成22年度計画値																																			
桑名市民病院	1,080件	1,100件																																			
桑名市民病院分院																																					
区分	平成21年度実績値	平成22年度実績値																																			
本院	MR I 2,842件 98.2%	3,068件 114.7%																																			
	C T 6,770件 63.4%	7,129件 73.3%																																			
分院	C T 839件 32.3%	1,205件 35.4%																																			
	病院名	平成22年度計画値	平成22年度実績値																																		
桑名市民病院	1,100件	1,214件																																			
桑名市民病院分院																																					

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

3 患者サービスの一層の向上

(2) 院内環境の快適性向上

中期 目標	患者や来院者に、より快適な環境を提供するため、施設の改修及び補修をきめ細かく実施するとともに、患者のプライバシー確保に配慮した院内環境の整備に努めること。
----------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
患者や来院者により快適な環境を提供するため、病室、待合室、トイレ及び浴室等の改修又は補修を実施するとともに、患者のプライバシー確保に配慮した院内環境の整備に努める。	患者や来院者により快適な環境を提供するため、病室、待合室、トイレ及び浴室等の改修又は補修を実施するとともに、患者のプライバシー確保に配慮した院内環境の整備に努める。	平成 22 年 11 月に外来患者への安全、快適性向上については、外来棟エレベーターのリニューアル工事、階段両側への手摺設置を行った。 平成 23 年 2 月に入院患者への快適な環境の提供として、特別室を浴室、トイレも	3		

		<p>含め全面的に改修し特別室に相応しい療養環境の整備を行った。</p> <p>平成 22 年 12 月には、総合受付及び内科外来に医療、病院情報を放送する広告モニターを設置し待ち時間中の情報提供を行った。また、平成 23 年 1 月に、透析患者には必需品であるテレビを全て入替え、快適な治療環境の向上に努めた。</p>			
--	--	--	--	--	--

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

3 患者サービスの一層の向上

(3) 患者の利便性向上

中期 目標	医療費のクレジットカード等による支払いや、コンビニエンスストアでの収納等、患者の利便性の向上に取り組むこと。
----------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
医療費のクレジットカード、デビットカード又は電子マネー等による支払や、コンビニエンスストアでの収納等について、経営上のメリット及びデメリットを勘案しつつ、患者の利便性の向上に取り組む。	平成 21 年度に導入したデビットカードに続き、クレジットカードや電子マネーによる医療費の支払や、コンビニエンスストアでの収納等について、経営上のメリット及びデメリットを勘案し、その導入について検討する。	<p>昨年度のデビットカードの導入に続き、平成 22 年 10 月から本院及び分院同時にクレジットカードによる決済を導入し、6 ヶ月間で 1,352 件の利用実績となった。</p> <p>さらに、平成 22 年 10 月から、本院、桑名駅、分院を結ぶシャトルバスを 30 分間隔で運行を開始し、6 ヶ月間で延べ 5,470 人、1 日あたり平均 46.0 人が利用した。</p>	4		

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

3 患者サービスの一層の向上

(4) 職員の接遇向上

中期 目標	患者サービス向上の観点から、職員一人ひとりが接遇の重要性を認識して、接遇の向上に努めること。
----------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>市民に選ばれ、市民が満足する病院であるため、既に実施している院内及びホームページでの「あなたの声」の取組みに加え、定期的な患者アンケート、患者の会等を通じて患者の意向をとらえ、患者サービスの向上につなげる。</p> <p>その上で、全職員が参加する研修や接遇の良い病院の見学等により、病院全体の接遇の向上を図る。</p>	<p>市民に選ばれ、市民が満足する病院であるため、既に実施している院内及びホームページでの「あなたの声」の取組みに加え、定期的な患者アンケート、患者の会等を通じて患者の意向をとらえ、患者サービスの向上につなげる。</p> <p>その上で、全職員が参加する研修を実施することにより、病院全体の接遇の向上を進める。また、接遇の良い病院についての情報を収集し、桑名市民病院及び桑名市民病院分院に合った取組みを行う。</p>	<p>院内及びホームページの「あなたの声」の意見は、平成 21 年度は 150 件あり内苦情は 73 件 48.6%を占めていたが、平成 22 年度は 122 件のうち 49 件 40.1%となり、苦情の占める割合は減った。</p> <p>定期的な患者アンケートだけでなく、外来待ち時間に特定した調査（既出）を行うなど患者の意向把握に努めた。</p> <p>医師を初め新規採用職員には全員に採用時接遇研修を受講させるとともに、「あなたの声」の意見の院内掲示、各所属への周知により適切な対応を求めた。</p>	3		

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
3 患者サービスの一層の向上
(5) ボランティアとの協働によるサービス向上

中期 目標	地域のボランティアと連携・協力して患者サービスを向上させるため、ボランティアの積極的な参加を促すこと。
----------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>地域のボランティアと連携・協力して患者サービスを向上させるため、ボランティアの積極的な参加が可能となるよう、規程の見直しや施設の整備を進める。</p>	<p>地域のボランティアと連携・協力して患者サービスを向上させるため、ボランティアの積極的な参加が可能となるよう受け入れ体制及び施設等の整備を図る。</p>	<p>ボランティア活動環境を整えるためボランティア室を設置したが、ボランティア登録に基づく活動は生け花に止まっている。</p> <p>定期的開催する看護フェスティバル、</p>	2		



		<p>クリスマス会、絵画・写真の展示にはボランティアが参加しており、また、初めて開催した病院祭においてもボランティアの協力が得られた。</p> <p>ボランティア活動を促進するため、先進病院からの情報収集、参加ニーズの把握、募集方法の検討を進める。</p>			
--	--	--	--	--	--

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

4 より安心で信頼できる質の高い医療の提供

(1) 医療安全対策の徹底

中期目標	患者及び市民に信頼される良質な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故等に関する情報の収集及び分析に努め、医療安全対策を徹底すること。
------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>市民に信頼される良質な医療を提供するため、医療安全管理委員会において医療事故及び医療事故につながる潜在的事故要因に関する情報の収集及び分析に努め、医療安全対策を徹底する。</p> <p>院内感染の発生原因の究明及び防止対策を確立し、患者とその家族及び職員の安全を確保するため、院内感染対策委員会及びICT（Infection Control Team＝感染対策チーム）において、感染源や感染経路に応じた未然防止及び発生時の院内感染対策を検討し、確実に実施する。</p> <p>また、感染対策専門医（ICD）、感染管理認定看護師（ICN）の資格の取得を促進する。</p>	<p>市民に信頼される良質な医療を提供するため、医療安全管理委員会において医療事故及び医療事故につながる潜在的事故要因に関する情報の収集及び分析に努め、医療安全対策を徹底する。</p> <p>院内感染の発生原因の究明及び防止対策を確立し、患者とその家族及び職員の安全を確保するため、院内感染対策委員会及びICTにおいて、感染源や感染経路に応じた未然防止及び発生時の院内感染対策を検討し、確実に実施する。</p>	<p>医療安全管理委員会を毎月開催し、分野別組織の検討内容を統括してきた。院内感染対策委員会、ICT、医薬品安全管理委員会、医療機器安全委員会、医療ガス安全管理委員会、リスクマネージャー部会、輸血療法ならびに血液製剤管理委託委員会においては、それぞれの分野から医療安全対策を検討し、継続的に現場にフィードバックしている。</p> <p>医療安全研修関係に関する研修会を7回開催し296人が参加した。</p> <p>また、職員の就労時の安全環境を確保するため衛生委員会での院内ラウンドを定期的実施し、労働安全の視点で確認、改善を行った。</p>	3		

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

4 より安心で信頼できる質の高い医療の提供

(2) 患者中心の医療の実践

中期目標 医療の中心は患者であるという認識の下、患者の権利を尊重し、インフォームド・コンセント（患者やその家族が、自ら受ける治療の内容に納得し、自分に合った治療法を選択できるような十分な説明を受けた上での同意をいう。）を徹底すること。

また、セカンドオピニオン（患者やその家族が、治療法等の判断に当たって、主治医とは別の医師の意見を聴くこと。また、その意見をいう。）を提供する体制を強化すること。

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>医療の中心は患者であるという認識の下、患者とその家族が自ら受ける治療の内容に納得し、治療及び検査の選択についてその意思を尊重するため、インフォームド・コンセントを徹底するとともに、医療相談室の機能の充実を図る。</p> <p>医療を自由に選択する患者の権利を守るため、他院及び自院の患者やその家族が、治療法等の判断に当たり主治医とは別の医師の意見を求めたとき、適切にセカンドオピニオンを提供できる体制を強化する。</p>	<p>医療の中心は患者であるという認識の下、患者とその家族が自ら受ける治療の内容に納得し、治療及び検査の選択についてその意思を尊重するため、インフォームド・コンセントを徹底する。</p> <p>患者とその家族が抱える問題をよく理解して支援を行い、早期の退院を促す。</p>	<p>患者や家族から信頼され納得に基づいた医療を行うため、治療法、処置等における自己決定権を尊重するためインフォームド・コンセントのもと同意書作成を徹底した。</p> <p>医療相談室は、医療連携・医療相談・退院支援室に再編成を行い、看護師、医療事務者を新たに配置し、MSWを含め従前の3人体制を5人体制とし、退院支援に向けて総合的支援が可能となるよう機能を充実した。(既出)</p>	3		

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

4 より安心で信頼できる質の高い医療の提供

(3) 法令の遵守等

中期目標 患者が安心して医療を受けられるよう、医療法（昭和23年法律第205号）をはじめとする関係法令を遵守するとともに、行動規範と倫理を確立すること。

また、診療録（カルテ）等の個人情報の保護並びに患者及びその家族への情報開示を適切に行うこと。

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>桑名市が設立する医療機関としての公的使命を適切に果たすため、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）をはじめとする関係法令を遵守するとともに、内部規律の策定、倫理委員会によるチェック等を通じて、役職員の行動規範と倫理を確立する。</p> <p>診療録（カルテ）等の個人情報の保護並びに患者及びその家族への情報開示については、桑名市民病院個人情報保護規程に基づき、個人情報保護推進委員会を中心として適切に行い、また、プライバシーマークの取得を推進する。</p>	<p>桑名市が設立する医療機関としての公的使命を適切に果たすため、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）をはじめとする関係法令を遵守するとともに、内部規律の策定、倫理委員会によるチェック等を通じて、役職員の行動規範と倫理を確立する。</p> <p>診療録（カルテ）等の個人情報の保護並びに患者及びその家族への情報開示については、桑名市民病院個人情報保護規程に基づき、個人情報保護推進委員会を中心として適切に行う。</p>	<p>平成 22 年 11 月 24 日の桑名保健所及び関係機関による医療監視により、医療法等関係法令に基づいて適正に運営が行われていることが確認された。</p> <p>病院の基本理念、年度目標、倫理規程等の行動規範を掲載した職員手帳を全職員に配布し、常時持参を課した。</p> <p>倫理委員会は平成 21 年度 3 件、平成 22 年度 10 件の倫理審査を行ったが、平成 23 年 2 月に NCD のデータベース事業に参加し NCD 倫理委員会での代理審査が可能になるなど審査の客観性が担保され、また、医療の質の向上、治療成績の改善に繋がる情報提供が可能となった。</p> <p>（NCD データベース事業とは多くの臨床学会が連携し、日本の医療の現状を把握することを目的にしている。登録される情報は参加施設の治療成績向上に役立てるために、事業参加施設、各種臨床領域に情報がフィードバックされる。）</p> <p>診療録（カルテ）等の個人情報開示は平成 21 年度、22 年度とも 6 件あり、桑名市民病院個人情報保護規程に基づき適切に開示した。</p> <p>◎個人情報保護推進委員会及び個人情報保護管理者部会の開催状況 部会：6 回、研修会 1 回（34 人）</p>	3		

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

4 より安心で信頼できる質の高い医療の提供

(4) 電子カルテシステムの導入

中期 目標	患者中心の医療の充実や安全性の向上等を図るため、医療情報システムの更新時等にあわせて、電子カルテの導入を進めること。
----------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
診療の効率性を確保しつつ、患者中心の医療の充実や安全性の向上等を図るため、カルテの運搬や受付・会計待ち時間が削減可能で、カルテの取違いや薬の処方ミス等も防止できる電子カルテシステムの導入を、新病院の整備時に進める。	電子カルテシステムについては、新病院の実現時に導入するために、システムの基本的な情報収集を継続する。 桑名市民病院においては、注射薬処方をオーダーリングシステムに組み込む。	医療システム推進室及び電子カルテ準備委員会を医師、管理及び医事職員を構成員として立ち上げ、メーカーと、メーカーごとのシステムの内容、導入事例などを収集した。 平成 22 年 7 月にオーダーリングシステムに注射薬処方システム（既出）を導入し、情報伝達の迅速性と正確性を確保した。	3		

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
4 より安心で信頼できる質の高い医療の提供
(5) 病院機能評価の認定

中期 目標	財団法人日本医療機能評価機構が、実施している病院機能評価の認定を中期目標期間中の早期に受けることにより、医療の質及び安全対策の検証に努め、市民からの信頼の確保に努めること。
----------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
医療の質及び安全対策を検証し、市民からの信頼を確保するため、財団法人日本医療機能評価機構が実施している病院機能評価の認定を中期目標期間中の早期に取得する。	医療の質及び安全対策を検証し、市民からの信頼を確保するため、財団法人日本医療機能評価機構から得られている病院機能評価の認定の基準を維持する。あわせて、同評価バージョン 6 の両病院での認定取得に向け、研究を行う。	財団法人日本医療機能評価機構から得られている病院機能評価の認定の基準を維持し、同評価バージョン 6 の認定取得に向け、病院機能評価委員会を定期的に開催し研究を行った。分院においては平成 23 年 5 月の同評価バージョン 6 審査に向けて準備を整えた。	3		

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- 4 より安心で信頼できる質の高い医療の提供  
 (6) 市民への保健医療情報の提供及び発信

中期 目標	医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、市民対象の公開講座の開催やホームページでの情報提供等、保健医療情報の発信及び普及啓発を推進すること。
----------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、平成20年度に医師・薬剤師等が参加して7回実施した出前講座、平成19年度から毎年1回開催している公開講座の充実、医師をはじめとする医療スタッフによる、病院内での地域住民を対象とした小講座の開催、及び広報、ケーブルテレビ、ホームページの活用等により、保健医療情報を発信し、市民の医療や健康に対する意識の啓発を推進する。	医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、出前講座及び市民公開講座を開催するとともに、広報、ケーブルテレビ、ホームページの活用等により、保健医療情報を継続的に発信し、市民の医療や健康に対する意識の啓発を推進する。	<p>◎出前講座の実績                      開催要請件数：8件、参加者数：85人</p> <p>◎市民公開講座の実績                      平成22年10月31日に病院祭と同時開催し「安心して信頼を寄せることのできる病院を目指して」をテーマに7講座を開催した。                      平成23年1月22日に北勢緩和ケアネットワークと共催で桑名市民会館にて「ここまで進んできた緩和治療について」を開催し、約300人が参加した。</p> <p>◎ホームページの実績                      アクセス総数（平成22年1月～12月）：90,433件</p> <p>◎桑名市広報への記事掲載実績                      毎月1日発行の桑名市広報に市民病院だよりのコーナー（1ページ）を確保し、医療に関する情報を掲載した。</p> <p>◎第1回病院祭の実績                      平成22年10月31日に地域の病院として地域住民に親近感をもっていただけるよう第1回病院祭を開催し約1,500人が来院した。手術室見学、救急車展示、健康増進コーナー、子ども絵画展、模擬店を設け、全職員ボランティアで運営し職員の一体感の醸成も図れた。</p>	5		

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地方独立行政法人としての運営管理体制の確立

中期 目標	桑名市民病院の運営が的確に行えるよう、理事会及び事務局等の体制の整備をはじめ、中期目標、中期計画及び年度計画を着実に達成できる運営管理体制を構築すること。
----------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>桑名市民病院の運営が的確に行えるよう、理事長、副理事長及び理事で構成する理事会のほか、病院組織の体制を整備して、運営管理体制を構築する。</p> <p>中期目標、中期計画及び年度計画の着実な達成に向けて、毎月の収支報告を踏まえ、各診療科・部門別の収支を計算するなどの経営分析や、計画の進捗状況の定期的な把握等を行い、継続的な改善の下での業務運営を実施する。</p>	<p>理事長、副理事長及び理事で構成する理事会のほか、病院内の各組織からなる体制により、法人を的確に運営する。</p> <p>中期目標、中期計画及び年度計画の着実な達成に向けて、評価委員会による業務実績の評価及びそれを踏まえた業務運営の改善勧告に基づき、継続的な改善の下での業務運営を実施する。</p>	<p>平成22年10月1日付けで外部から理事を任命した。これまでの内部理事だけでなく、広く外部の医療及び病院経営についての助言を得るため有識者を選任し理事会の活性化を図った。</p> <p>本院・分院との合同企画運営会議、企画運営会議、代表者運営会議を通じて、法人の意思統一を図るとともに、年度計画に基づく業務運営を行った。</p>	3		

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 効率的かつ効果的な業務運営

(1) 適切かつ弾力的な人員配置

中期 目標	<p>高度な専門知識と技術に支えられた良質で安全な医療を提供するため、医師をはじめとする職員を適切かつ弾力的に配置すること。</p> <p>また、必要に応じて常勤以外の雇用形態を取り入れることなどにより、多様な専門職の活用を図り、効果的な医療の提供及び効率的な業務運営に努めること。</p>
----------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>高度な専門知識と技術に支えられた良質で安全な医療を提供するため、地方独立行政法人化のメリットの一つである柔軟な人事管理制度を活用して、医師をはじめとする職員を適切かつ弾力的に配置する。</p> <p>必要に応じて常勤以外の雇用形態を取り入れることにより、多様な専門職の活用を図り、効果的な医療の提供及び効率的な業務運営に努める。</p>	<p>高度な専門知識と技術に支えられた良質で安全な医療を提供するため、地方独立行政法人化のメリットの一つである柔軟な人事管理制度を活用して、医師をはじめとする職員を適切かつ弾力的に配置する。</p> <p>必要に応じて常勤以外の雇用形態を取り入れることにより、多様な専門職の活用を図り、効果的な医療の提供及び効率的な業務運営に努める。</p>	<p>看護部所属の看護助手が行ってきた外来受付業務等を、事務職員が行う業務に仕分け、さらに、外来業務は午前中が繁忙な業務であるため、パートタイム職員の雇用、診療科専属ではなく横断的な勤務によりフレキシブルな人員配置を行った。</p> <p>医事業務では、これまでの縦割りの業務から、業務量を勘案しながら複数の業務を担う人員配置を行った。</p> <p>多様な雇用形態として夜勤専従の正規職員（介護士3人）、臨時職員（看護師1人、介護士3人）を採用し、夜間の入院医療サービスの充実にも努めるとともに、看護師が専門性を効率的に発揮できる業務運営を行った。</p>	3		

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### 2 効率的かつ効果的な業務運営

#### (2) 事務部門の職務能力の向上

中期目標	プロパー職員の採用や研修の充実等により、病院特有の事務に精通した職員を確保及び育成し、事務部門の職務能力の向上を図ること。
------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>桑名市の派遣職員から法人が独自に採用したプロパー職員に段階的に切り替えることで、中期計画期間内に10名以内とすることを旨とし、また研修等を充実させることで、病院特有の事務に精通した職員を確保及び育成し、事務部門の職務能力を向上させる。</p> <p>あわせて、事務職員数を適正化し、事務部門の</p>	<p>桑名市の派遣職員から法人が独自に採用したプロパー職員に切り替え、また研修等を充実させることで、医事企画業務に精通した職員を確保及び育成し、事務部門の職務能力を向上させる。</p> <p>あわせて、事務職員数を適正化し、事務部門の</p>	<p>平成22年度に、法人プロパー職員として医事業務管理指導職1人を、管理部門では市からの派遣職員の代わりとする業務経験者3人など計4人の事務職員を採用した。</p> <p>平成23年3月31日現在、桑名市からの派遣職員は6人となり、平成21年度から7人の減員となった。</p>	4		

スリム化を図る。		<p>なお、臨時職員は、外来受付業務等を看護助手から事務職員が行う業務に仕分け（既出）のため、11人の増員となった。</p> <p>[事務職員数]</p> <table border="1" data-bbox="1205 300 1608 497"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年3月31日現在</th> <th>平成23年3月31日現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">本院</td> <td>常勤職員</td> <td>30人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>25人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>市派遣職員</td> <td>13人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>68人</td> <td>77人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">分院</td> <td>常勤職員</td> <td>16人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19人</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在	本院	常勤職員	30人	35人	臨時職員	25人	36人	市派遣職員	13人	6人	計	68人	77人	分院	常勤職員	16人	16人	臨時職員	3人	3人	計	19人	19人			
区分	平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在																													
本院	常勤職員	30人	35人																												
	臨時職員	25人	36人																												
	市派遣職員	13人	6人																												
	計	68人	77人																												
分院	常勤職員	16人	16人																												
	臨時職員	3人	3人																												
	計	19人	19人																												

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 効率的かつ効果的な業務運営

(3) 新しい人事評価制度の構築

中期目標	職員の努力が評価され、業績や能力を的確に反映した人事及び昇任管理を行うため、公正で客観的な新しい人事評価制度の導入を図ること。
------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
職員の努力が評価され、業績や能力を的確に反映した人事及び昇任管理を行うため、公正で客観的な新しい人事評価制度を導入する。	職員の努力が評価され、業績や能力を的確に反映した人事及び昇任管理を行うため、平成21年度から作成に取り組んでいる新しい人事評価制度を今年度中に導入する。	平成22年2月から、管理職、各部署代表及び組合代表で構成する人事評価プロジェクト会議を設置し、法人が期待する行動基準を職員参加のもと策定し、行動評価、能力評価及び業績評価の3要素による人事評価制度を構築し、平成22年度から運用を開始した。 人事評価制度は貢献度に応じた処遇反映を行うが、基本的な目的は法人業績の向上に繋がる人材育成であるため、評価結果のフィードバックが重要であり、オープンな透明性の高い制度を構築した。	4		



		医師については平成 23 年度中に導入予定である。			
--	--	---------------------------	--	--	--

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  
 2 効率的かつ効果的な業務運営  
 (4) 勤務成績を考慮した給与制度の導入

中期 目標	地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 57 条第 1 項の規定に基づき、職員の勤務成績を考慮した給与制度を導入し、適切な運用を図ること。
----------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
職員の給与については、職員の努力や法人の業績が反映される給与制度を導入し、適切に運用する。	職員の給与については、職員の努力や法人の業績が反映されるよう導入した給与制度を適切に運用する。	職員の努力や業績が反映される職員給与規程を適切に運用するため、人事評価制度を構築し平成 22 年度から運用を開始した。 平成 22 年度前期（4 月～9 月）評価に基づき、賞与（12 月）、昇給（1 月）及び昇任（4 月）に反映し、73 人の賞与額の増減、昇給号俸数の加減を行った。 医師は、前期の医業収益実績に基づき診療科別に一定の賞与財源を按分し、診療実績を評価し処遇に反映した。	4		

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  
 2 効率的かつ効果的な業務運営  
 (5) 職員の就労環境の整備

中期 目標	日常業務の質の向上を図り、患者の安全を守るとともに、優秀な職員を確保するため、職員にとって働きやすく、また、働きがいのある就労環境を整備すること。
----------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
日常業務の質の向上を図り、患者の安全を守るとともに、優秀な職員を確保するため、柔軟な勤務形態の採用、時間外勤務の削減、休暇の取得の促進等、職員にとって働きやすく、また、働きがいのある就労環境を整備する。	日常業務の質の向上を図り、患者の安全を守るとともに、優秀な職員を確保するため、柔軟な勤務形態の採用、時間外勤務の削減、休暇の取得の促進等、職員にとって働きやすく、また、働きがいのある就労環境を整備を継続する。	<p>育児・介護休業法の一部改正に伴い子の看護休暇の拡充及び介護短期休暇の創設など就業規程の改正を行い、女性医療職が働きやすい環境作りに努めた。（既出）</p> <p>育児休業の各年度の新規取得者は平成 21 年度 5 人、平成 22 年度 14 人となり、今後も同制度を維持していく。</p> <p>時間外勤務の削減は、特に、2 交代勤務で長時間の勤務となる看護部の時間外勤務の削減が求められており、看護部時間外時間数は平成 21 年度 18,985 時間、平成 22 年度 15,129 時間となり、20.3%の時間外勤務時間数の削減が図れた。</p> <p>また、会議及び業務上の研修会は勤務時間内に行うこと、勤務時間であることを徹底した。</p>	3		

第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
2 効率的かつ効果的な業務運営
(6) 業務改善に取り組む組織風土の醸成

中期 目標	職員の意欲を高め、業務運営への積極的な参画を促すなど、継続的に業務改善へ取り組む組織風土を醸成すること。
----------	--

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>各部門間のコミュニケーションを良くして、連携を円滑にする。</p> <p>その上で、病院経営に係る目標の設定や課題・改善提案に対し、職員の誰もが参画可能な体制にするなど、職員個々が経営状況を理解し、継続的に業務改善へ取り組む組織風土を醸成する。</p>	<p>各部門間のコミュニケーションを良くして、連携を円滑にする。</p> <p>その上で、病院経営に係る目標の設定や課題・改善提案に対し、職員の誰もが参画可能な体制にするなど、職員個々が経営状況を理解し、継続的に業務改善へ取り組む組織風土の醸成を維持する。</p>	<p>人事評価制度において業績評価（目標管理評価）を取り入れ、法人の年度目標、部署目標、個人目標を順次設定し、職員の個人目標が法人目標に繋がる仕組みを取り入れた。</p> <p>法人化以前から、日常の調査、研究、経営改善への取り組みを発表する院内研究発表会を開催しており、業務改善へ取り組む組織風土が具現化されつつある。</p>	3		

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### 2 効率的かつ効果的な業務運営

#### (7) 予算の弾力化等

中期目標	<p>地方独立行政法人制度の特長である、中期目標及び中期計画の枠の中で、予算科目や年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行うことにより、効率的かつ効果的な事業運営に努めること。</p> <p>また、複数年契約や複合契約など、多様な契約手法を活用し、費用及び業務量等の節減を図ること。</p>
------	---

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント
<p>中期計画の枠の中で、予算科目や年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行うことにより、効率的かつ効果的な事業運営に努める。</p> <p>複数年契約や複合契約等、多様な契約手法を活用し、費用及び業務量等の節減を図る。</p>	<p>中期計画の枠の中で、予算科目や年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行うことにより、効率的かつ効果的な事業運営を維持する。</p> <p>複数年契約や複合契約等、多様な契約手法を活用し、費用及び業務量等の見直しを行う。</p>	<p>会計規程において、競争入札と随意契約の実施条件に差を設けず最も効果的な方法を選択できる制度とし、薬品購入では平成21年度の取引卸業者6社から平成22年度は総合評価方式により3社に変更した。その結果、業者間の競争意識を促し、納入対応や情報提供サービスの向上に繋がり、薬品購入価格では平成21年度と比較して約4,500万円の削減となった。</p> <p>さらに、これまで医療機器のリース後の</p>	4		

		保守契約を自動的に行ってきたが、既存CTの保守契約を他メーカー導入費用との比較検討を行うことで経費を削減した。			
--	--	---	--	--	--

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  
 2 効率的かつ効果的な業務運営  
 (8) 収入の確保と支出の節減

中期目標 効果的な病床管理を行うことによる病床利用率の向上及び高度医療機器の稼働率の向上を図り、診療報酬の改定や健康保険法等の改正に的確に対処するとともに、診療報酬の請求漏れや減点を防止し、未収金の未然防止対策と早期回収に努めるなど、収入を確保すること。  
 後発医薬品の採用を一層促進するほか、医薬品及び診療材料等の購入方法の見直しや業務委託の推進など、事業運営に係るあらゆる支出を点検し、その節減に努めること。

中期計画	年度計画	法人の自己評価		委員会の評価																																					
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会コメント																																				
ア 収入の確保 (ア) 医師及び看護師の充実	ア 収入の確保 (ア) 医師及び看護師の充実	<p>医師派遣元の大学医局、全国自治体病院協議会など関連機関との連携や民間人材バンクによる募集、地元出身者などへの働きかけ、修学資金の積極的な運用などにより人員確保に努めた。</p> <p>〔医師数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年3月31日現在</th> <th>平成23年3月31日現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">本院</td> <td>常勤職員</td> <td>27人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>26人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>53人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">分院</td> <td>常勤職員</td> <td>2人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>19人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>21人</td> <td>38人</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔看護師数（准看護師含）〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年3月31日現在</th> <th>平成23年3月31日現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">本院</td> <td>常勤職員</td> <td>123人</td> <td>116人</td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>35人</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>158人</td> <td>170人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在	本院	常勤職員	27人	29人	臨時職員	26人	29人	計	53人	58人	分院	常勤職員	2人	3人	臨時職員	19人	35人	計	21人	38人	区分	平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在	本院	常勤職員	123人	116人	臨時職員	35人	54人	計	158人	170人	4		
区分	平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在																																							
本院	常勤職員	27人	29人																																						
	臨時職員	26人	29人																																						
	計	53人	58人																																						
分院	常勤職員	2人	3人																																						
	臨時職員	19人	35人																																						
	計	21人	38人																																						
区分	平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在																																							
本院	常勤職員	123人	116人																																						
	臨時職員	35人	54人																																						
	計	158人	170人																																						

(イ) 7対1入院基本料の維持

(ウ) DPC制度の活用

(エ) 入院については入院患者数の増加、病床利用率の向上及び平均在院日数の短縮、外来については外来患者数の増加

〔入院患者数、病床利用率、平均在院日数及び外来患者数〕

病院名	区分	平成19年度 実績値	平成20年度 実績値
桑名市民病院	入院患者数	49,536人	50,044人
	病床利用率	57.8%	58.6%
	平均在院日数	17.9日	16.8日
	外来患者数	116,937人	122,772人
桑名市民病院 分院	入院患者数	5,951人	5,583人
	病床利用率	33.2%	31.2%
	平均在院日数	5.9日	6.0日
	外来患者数	36,924人	34,455人

入院患者数及び外来患者数については、前年度の患者数を下回らないよう努力する。

平成25年度における病床利用率は、平成20年度比5%増を目指す。

平均在院日数については、前年度を上回らないよう努力する。

(オ) 高度医療機器の稼働率の向上

(カ) 診療報酬の改定や健康保険法等の改正への的確な対処と診療報酬の請求漏れや減点の防止

(イ) 7対1入院基本料の維持

(ウ) DPC制度の活用

(エ) 入院については入院患者数及び1日当たり入院収益の増加、病床利用率の向上及び平均在院日数の短縮、外来については外来患者数及び1日当たり外来収益の増加

(オ) 高度医療機器の稼働率の向上

(カ) 今年度の診療報酬の改定に関する情報の迅速な収集と的確な対処

分院	常勤職員	16人	22人
	臨時職員	9人	7人
	計	25人	29人

7対1入院基本料は、継続維持することができた。

DPC制度については、平成22年度から導入された機能評価係数の向上に繋がる医療を目指し、また、入院適期を判断し診療報酬のベンチマーク比較を分析検討し、収入確保の対策を行った。

平成21年度と平成22年度の入院患者数、1日当たり入院収益、病床利用率、平均在院日数、外来患者数及び1日当たり外来収益は、下記のとおりだった。

〔入院患者数、病床利用率、平均在院日数及び外来患者数〕

	区分	平成21年度 実績値	平成22年度 実績値
本院	入院患者数	47,259人	47,940人
	1人当たり入院収益	40,087円	40,360円
	病床利用率	55.3%	56.1%
	平均在院日数	15.1日	15.8日
	外来患者数	124,378人	115,487人
分院	1人当たり外来収益	7,795円	8,002円
	入院患者数	7,153人	7,575人
	1人当たり入院収益	73,500円	77,314円
	病床利用率	24.8%	26.3%
	平均在院日数	5.5日	5.5日
分院	外来患者数	29,936人	28,959人
	1人当たり外来収益	9,685円	9,551円

検査機器の稼働件数及び稼働率は、前年度と比較して概ね増加した。(既出)

〔検査機器の稼働件数及び稼働率〕

	区分	平成21年度 実績値	平成22年度 実績値
本院	MR I	2,842件	3,068件
		98.2%	114.7%
本院	C T	6,770件	7,129件
		63.4%	73.3%
分院	C T	839件	1,205件
		32.3%	35.4%

稼働率は1日当たりの検査枠数に日数を乗じた件数を基に稼働件数から求めた。

平成22年度診療報酬改定では現状での報酬算定適用ではなく、どのように対応す

<p>(キ) 未収金の未然防止と早期回収</p> <p>イ 費用の節減 医薬品、診療材料等の購入や清掃、警備等の業務委託については、2病院で一括して調達及び契約を行うことにより、費用の節減を図る。</p> <p>(ア) 後発医薬品の採用促進 〔後発医薬品採用率及び採用数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>平成20年度実績値</th> <th>平成25年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">後発医薬品採用率</td> <td>桑名市民病院</td> <td>12.2%</td> <td rowspan="2">15%</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">後発医薬品採用数</td> <td>桑名市民病院</td> <td>119</td> <td rowspan="2">230</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 薬品及び診療材料における同種・同効果のものの整理、購入方法の見直し及び過剰在庫の防止による死蔵品及び期限切れ廃棄品の削減 〔材料費対医薬収益比率〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度実績値</th> <th>平成25年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>18.9%</td> <td rowspan="2">26.9%</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>27.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 平成19年度自治体黒字病院一般病院の材料費対医薬収益比率 26.9%</p>	区分	病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値	後発医薬品採用率	桑名市民病院	12.2%	15%	桑名市民病院分院	8.6%	後発医薬品採用数	桑名市民病院	119	230	桑名市民病院分院	60	病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値	桑名市民病院	18.9%	26.9%	桑名市民病院分院	27.1%	<p>チェック体制の強化と医事・診療部門間の緊密な連携による、診療報酬の請求漏れや減点の防止</p> <p>(キ) 患者ごとの収納状況を整理と把握することによる未収金の未然防止、及び督促、戸別訪問を始めとした早期回収対策の実施</p> <p>イ 費用の節減 医薬品、診療材料等の購入や清掃、警備等の業務委託については、2病院で一括して調達及び契約に向けた取組みを開始する。</p> <p>(ア) 後発医薬品の採用促進 〔後発医薬品採用率及び採用数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成22年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品採用率</td> <td>11.8%</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品採用数</td> <td>198</td> <td>210</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 平成21年度から実施している薬品及び診療材料における同種・同効果のものの整理、購入方法の見直し、定期的な卸し並びに過剰在庫の防止による死蔵品及び期限切れ廃棄品の削減の徹底</p>	区分	平成21年度実績値	平成22年度計画値	後発医薬品採用率	11.8%	12.5%	後発医薬品採用数	198	210	<p>れば算定が可能になるかという視点で、改定に対応した。その結果、新たな施設基準として栄養サポートチーム加算をはじめ16件が受理された。</p> <p>また、返戻減点への対応として、医局会、各診療科、医師個人へのフィードバックを徹底し、漏れのない診療報酬算定に努めた。</p> <p>未収金対策として、滞納者に対し、手紙と電話による催告や分納誓約の提出、医事職員（安全対策員）の戸別訪問による未収金回収を継続して実施し、さらに、貸倒引当金を厳格に算定するため、詳細な滞納者情報を出来る限り早期に把握するよう努めた。</p> <p>後発医薬品については、採用率、採用数ともに、年度計画をほぼ達成した。</p> <p>〔後発医薬品採用率及び採用数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度計画値</th> <th>平成22年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品採用率</td> <td>12.5%</td> <td>12.8%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品採用数</td> <td>210</td> <td>217</td> </tr> </tbody> </table> <p>薬品については、卸業社を6社から3社とし競争原理が働いたことにより薬価引き下げ率が向上し（既出）、さらに、後発医薬品採用数の増加により薬品費用を縮減した。また、廃棄品についても、在庫管理の徹底、分院との調整により555千円で前年度より27.4%削減できた。</p> <p>診療材料については、循環器系の診療材料の使用が減ったこと、さらに、同種・同効果の診療材料の洗い出しを継続的に実行により安価な材料の購入を進めたことなどにより診療材料費を縮減できた。</p>	区分	平成22年度計画値	平成22年度実績値	後発医薬品採用率	12.5%	12.8%	後発医薬品採用数	210	217		
区分	病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値																																											
後発医薬品採用率	桑名市民病院	12.2%	15%																																											
	桑名市民病院分院	8.6%																																												
後発医薬品採用数	桑名市民病院	119	230																																											
	桑名市民病院分院	60																																												
病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値																																												
桑名市民病院	18.9%	26.9%																																												
桑名市民病院分院	27.1%																																													
区分	平成21年度実績値	平成22年度計画値																																												
後発医薬品採用率	11.8%	12.5%																																												
後発医薬品採用数	198	210																																												
区分	平成22年度計画値	平成22年度実績値																																												
後発医薬品採用率	12.5%	12.8%																																												
後発医薬品採用数	210	217																																												

<p>(ウ) 委託内容、委託先及び契約方法等を全般的に見直すことによる既存の業務委託の適正化、並びに効率化が見込める業務における新規の業務委託の推進</p> <p>[経費対医業収益比率]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度実績値</th> <th>平成25年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>24.6%</td> <td rowspan="2">22.6%</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>21.7%</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2">平成19年度自治体黒字病院一般病院の経費対医業収益比率 22.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(エ) 医療安全の確保、医療の質や患者サービスの向上等に十分配慮した上での業務の効率化・業務量の適正化による人件費の節減</p> <p>[人件費対医業収益比率]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度実績値</th> <th>平成25年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>70.1%</td> <td>66.6%</td> </tr> <tr> <td>桑名市民病院分院</td> <td>48.5%</td> <td>48.5%</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2">平成19年度自治体黒字病院一般病院の人件費対医業収益比率 49.3%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値	桑名市民病院	24.6%	22.6%	桑名市民病院分院	21.7%	備考	平成19年度自治体黒字病院一般病院の経費対医業収益比率 22.6%		病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値	桑名市民病院	70.1%	66.6%	桑名市民病院分院	48.5%	48.5%	備考	平成19年度自治体黒字病院一般病院の人件費対医業収益比率 49.3%		<p>(ウ) 委託内容、委託先及び契約方法等を全般的に見直すことによる既存の業務委託の適正化、並びに効率化が見込める業務における新規の業務委託の推進</p> <p>(エ) 医療安全の確保、医療の質や患者サービスの向上等に十分配慮した上での業務の効率化・業務量の適正化による人件費の節減</p>	<p>[材料費対医業収益比率]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成22年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>23.8%</td> <td>21.9%</td> </tr> <tr> <td>材料費(千円単位)</td> <td>465,425</td> <td>838,688</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成21年度実績値は平成21年10月～平成22年3月までの6ヶ月分</p> <p>医療機器の保守契約において、既存機器使用が前提となり競争原理が働かないことから、他メーカー機器との更新比較を行った結果、経費縮減に繋がった。(既出)</p> <p>また、交換部品やその頻度など、実際の保守内容と比較して、適正な契約内容への変更、契約金額の見直しを継続的に行った。</p> <p>[経費対医業収益比率]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成22年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>18.3%</td> <td>17.5%</td> </tr> <tr> <td>経費(千円単位)</td> <td>358,132</td> <td>671,521</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成21年度実績値は平成21年10月～平成22年3月までの6ヶ月分</p> <p>職員給与については、法人及び職員の業務実績に応じた賞与及び昇給が定められており、法人業績を勘案し平成22年12月賞与を職員0.2月、管理職0.3月分を削減した。また、人事評価結果に基づき賞与の増減、これまでの一律昇給から昇給号俸数に差をつけた。(既出)</p> <p>[給与対医業収益比率]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成22年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑名市民病院</td> <td>58.1%</td> <td>62.6%</td> </tr> <tr> <td>給与費(千円単位)</td> <td>1,137,752</td> <td>2,395,985</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成21年度実績値は平成21年10月～平成22年3月までの6ヶ月分</p>	区分	平成21年度実績値	平成22年度実績値	桑名市民病院	23.8%	21.9%	材料費(千円単位)	465,425	838,688	区分	平成21年度実績値	平成22年度実績値	桑名市民病院	18.3%	17.5%	経費(千円単位)	358,132	671,521	区分	平成21年度実績値	平成22年度実績値	桑名市民病院	58.1%	62.6%	給与費(千円単位)	1,137,752	2,395,985		
病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値																																																				
桑名市民病院	24.6%	22.6%																																																				
桑名市民病院分院	21.7%																																																					
備考	平成19年度自治体黒字病院一般病院の経費対医業収益比率 22.6%																																																					
病院名	平成20年度実績値	平成25年度計画値																																																				
桑名市民病院	70.1%	66.6%																																																				
桑名市民病院分院	48.5%	48.5%																																																				
備考	平成19年度自治体黒字病院一般病院の人件費対医業収益比率 49.3%																																																					
区分	平成21年度実績値	平成22年度実績値																																																				
桑名市民病院	23.8%	21.9%																																																				
材料費(千円単位)	465,425	838,688																																																				
区分	平成21年度実績値	平成22年度実績値																																																				
桑名市民病院	18.3%	17.5%																																																				
経費(千円単位)	358,132	671,521																																																				
区分	平成21年度実績値	平成22年度実績値																																																				
桑名市民病院	58.1%	62.6%																																																				
給与費(千円単位)	1,137,752	2,395,985																																																				

第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

※ 財務諸表及び決算報告書を参照

第4 短期借入金の限度額

中期計画	年度計画	実施状況	
1 限度額 1,200 百万円 2 想定される短期借入金の発生理由 (1)運営費負担金の受入れ遅延等による資金不足への対応 (2)予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等偶発的な出費への対応	1 限度額 1,200 百万円 2 想定される短期借入金の発生理由 (1)運営費負担金の受入れ遅延等による資金不足への対応 (2)予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等偶発的な出費への対応	1 借入残高 350 百万円 2 短期借入金の発生理由 当面の支払い能力を超える債務への対応（実質的な資金不足）	

第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

中期計画	年度計画	実施状況	
なし	なし	該当なし	

第6 剰余金の使途

中期計画	年度計画	実施状況	



決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備又は医療機器の購入等に充てる。	決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備又は医療機器の購入等に充てる。	該当なし	
--	--	------	--

第7 桑名市地方独立行政法人法施行細則（平成21年桑名市規則第26号）第5条で定める事項

中期計画	年度計画	実施状況	
新病院の施設整備に関する計画			
交通の利便性が悪く、老朽化した現在の桑名市民病院に替わる新たな地域の中核病院については、桑名市との連携の下、交通の利便性の良い場所に建設し、二次医療を完結できるべく、設備及び医療機器等の整備を進める。その際は、環境への配慮及びアメニティの向上を必須項目とする。	交通の利便性が悪く、老朽化した現在の桑名市民病院に替わる新たな地域の中核病院の実現については、桑名市民病院新病院整備検討会で意見聴取した基本構想及び基本計画を基に新病院建設に向けて検討を進める。 法人に新病院建設準備室を設置し、これを中核として準備を進める。	平成22年9月の桑名市議会での「桑名市民病院の再編統合と地域医療の充実に関する決議」を受け、桑名市は桑名市地域医療対策連絡協議会に地域医療提供体制部会を10月に設置した。部会では医療提供体制の課題とその解決策の検討がなされ、桑名市民病院と山本総合病院の再編統合が提言された。 桑名市は平成23年2月に「桑名地域における地域医療体制の再構築」の計画を定め、桑名市民病院と山本総合病院を再編統合し、地域医療再生基金を活用し新病院整備を進めていくことを決め、桑名市、桑名市民病院及び山本総合病院で、労務・人事関連事項に関する打合せを始めた。	